



## 電子展示会「ヴィクトリア朝の子ども本：イングラムコレクションより」 の提供を開始します

国立国会図書館国際子ども図書館は、「子ども読書の日」である4月23日、電子展示会「ヴィクトリア朝の子ども本：イングラムコレクションより」の提供を開始します。

このインターネット上の展示会では、国際子ども図書館の特別コレクション「イングラムコレクション」の中から、近代児童文学の黎明期にあたる19世紀イギリスの代表的な作品約50点をご紹介します。資料の多くは、挿絵などを含む全文をデジタル画像でご覧いただくことができます。想像力にあふれた「子どものための文学」が生まれたヴィクトリア朝の子ども本の魅力をお楽しみください。

# ヴィクトリア朝の子ども本 イングラムコレクションより



### ■ URL

<http://www.kodomo.go.jp/ingram/>

国際子ども図書館ホームページ [トップ](#)>[展示会・イベント](#)>[電子展示会](#)>  
ヴィクトリア朝の子ども本：イングラムコレクションより

## ■展示会の構成

以下の各章ごとに、解説をつけて作品をご紹介します。

### 第1章 初期の児童文学 - 教訓物語から日常小説へ

…『小公子』、『トム・ブラウンの学校生活』等

### 第2章 チャップブックとフェアリーテール

…シャルル・ペロー、グリム兄弟やアンデルセンの童話等

### 第3章 ファンタジーの時代の幕開け

…『黄金の川の王様』、『水の子』、『不思議の国のアリス』等

### 第4章 冒険小説の誕生

…『ロビンソン・クルーソー』、『宝島』等

### 第5賞 トイ・ブックと近代絵本の夜明け

…挿絵の印刷技術の進化にともなって全盛期を迎えたトイ・ブックと呼ばれる絵本のシリーズや、その後の絵本作り、絵本画家たちに多大な影響を与えた、ランドルフ・コルデコット、ウォルター・クレイン、ケイト・グリーンナウェイの作品を紹介。

このほか、イギリス挿絵印刷技術の解説、関連年表、イングラムコレクションとヴィクトリア朝の子どもの本をもっと知るための参考文献や参考サイトも掲載しました。

## ■イングラムコレクションについて

国際子ども図書館は、児童書の専門図書館として、国内で刊行される児童書を収集し保存するとともに、外国の児童書についても、古典的な作品を含めて幅広く収集しています。

その一つに、18世紀から20世紀にかけてのイギリスの児童書を中心とする特別コレクション「イングラムコレクション」があります。コレクションの核となっているのは、イギリスのヘレフォード大聖堂主教座名誉参事会員エドワード・ヘンリー・ウィニングトン＝イングラム師が、ヴィクトリア朝の道徳的、精神的価値観に沿った児童文学をテーマに収集した資料です。

イングラムコレクションについては、国際子ども図書館ホームページでも紹介しています。

<http://www.kodomo.go.jp/search/collection/special02.html>

国際子ども図書館ホームページ [トップ](#)>本・資料を探す>コレクション紹介>  
イングラムコレクション

## ■全文画像へのリンク

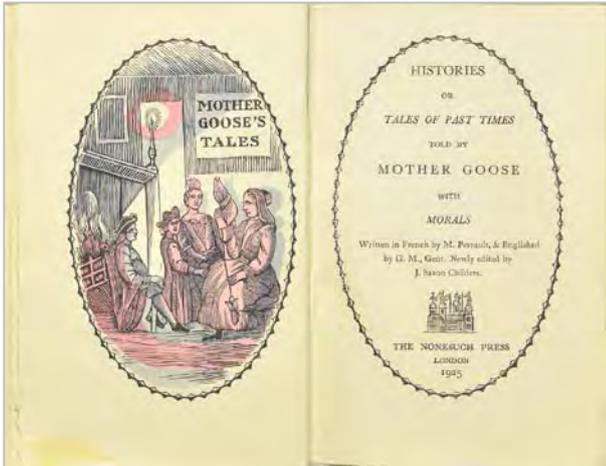
出展資料の多くは、「国立国会図書館デジタル化資料」、「子どもの本の国際電子図書館 (International Children's Digital Library)」、「インターネットアーカイブ」にリンクし、挿絵などを含む全文をデジタル画像でご覧いただくことができます。

## ■お問い合わせ先

国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課企画広報係  
電話：03-3827-2040（直通）

■掲載資料紹介

画像のデータは、メールでお送りすることができます。必要な場合はご連絡ください。

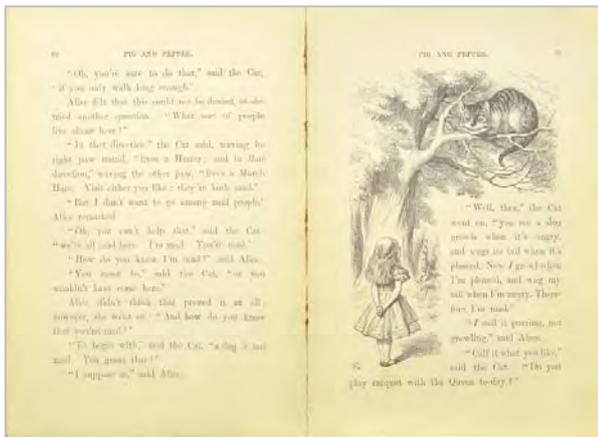


過ぎし日の物語集または昔話集・教訓つき

(Histories or tales of past times told by Mother Goose with morals)

シャルル・ペロー／作 ジェームズ・サクソン・チルダース／編 1925

フランスの童話集を英訳したチャップブック『がちょうお婆さんの昔話』(1697)の復刻。がちょうお婆さん=マザー・グースは、後にイギリスの伝承童謡の代名詞となりました。

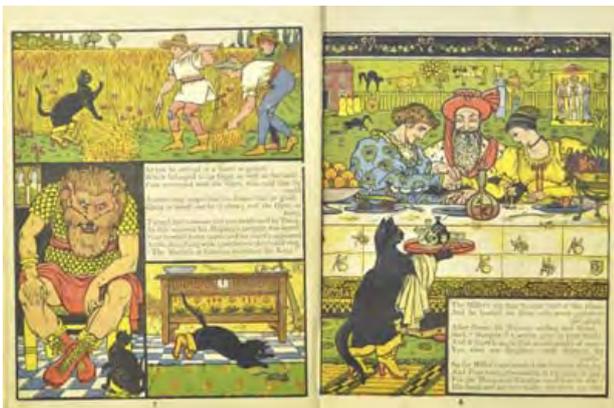


不思議の国のアリス

(Alice's adventures in Wonderland)

ルイス・キャロル／作 ジョン・テニエル／絵 1886

ナンセンス児童文学の最高傑作として世界中に愛され続ける作品です。



カラバ侯爵の絵本

(The Marquis of Carabas' picture book)

ウォルター・クレイン／絵 [1873]

“カラバ侯爵”は、収録の『長ぐつをはいた猫』に登場する猫の主人の名。漫画のようにページの中で展開する表現に日本美術の影響がみられます。



グリーンウェイの花ことば

(Language of flowers)

ケイト・グリーンウェイ／絵 [1884]

AからZまでの花ことばが、手彩色の木口木版によるグリーンウェイのイラストとともに描かれています。